



頼当御門から天守に向かう通路

宇土櫓

「熊本城の被災状況と今後の復旧計画」

熊本城総合事務所 津曲 俊博

	明治22年熊本地震	平成28年熊本地震	
		前震	本震
発生日時	明治22年7月28日 23時40分頃	平成28年4月14日 21時26分	平成28年4月16日 1時23分
マグニチュード	6.3	6.5	7.3
震源	金峰山附近(立田山断層)	布田川断層帯	布田川断層帯
熊本城被災			
重要文化財	7棟カ (壁破損、一部破壊)	10棟 (長堀一部倒壊、9棟瓦・外壁落下)	13棟 (倒壊2棟、一部倒壊3棟、他屋根・壁破損)
復元建造物	—	7棟 (天守閣瓦落下、壁ひび、堀崩壊など)	20棟 (倒壊5棟、下部石垣崩壊、屋根・壁破損)
石垣	崩落 42箇所、約4,200㎡ 孕み出し20箇所、約4,700㎡	崩落 6箇所 膨らみ・緩み 多数	崩落・膨らみ・緩み 517面、約23,000㎡ うち崩落 50箇所、229面、約8,200㎡
地盤	崖崩落 7箇所・約1,300㎡	陥没・地割れ多数	陥没・地割れ 70箇所、12,345㎡
熊本城全体の石垣：973面、約79,000㎡			



明治8年頃の焼失前熊本城天守
明治10年の西南戦争で焼失



明治28年頃の熊本城天守台



明治10年の焼失から83年後の昭和35年に
再建された天守 (平成26年撮影)



今回の地震で多くの石垣が崩れ重文建造物も被災

石垣の被災状況

宇土櫓台石垣

被災前



本震後



横から



竹ノ丸五階櫓台石垣

側面に亀裂が見える →

上位が丸く膨らんでいる ↓



被災前



本震後



二様の石垣

被災前



本震後 *上面の沈下と拡張石垣天端のはらみ出し

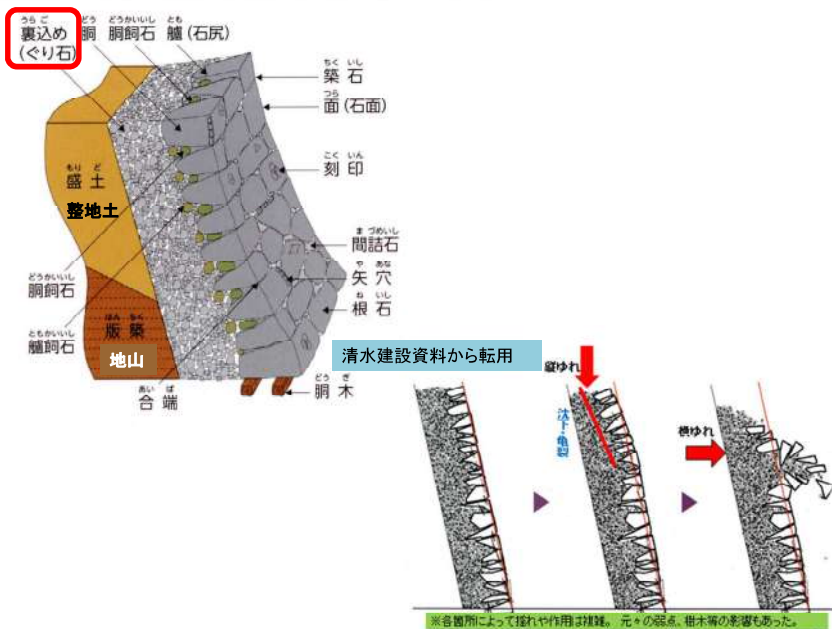


小天守北東石門周辺(西から)

被災前



本震後



緊急工事の事例報告 地割れと石垣崩落



地割れの雨水対策としてシート養生



城内各所に白いシート



本震後

百間石垣～二の丸御門跡



8/1 緊急工事終了し市道開通



(重要文化財)不開門

被災前



本震後



(重要文化財)北十八間櫓

被災前



本震後



建造物の被災状況

(重要文化財)宇土櫓

前震後～本震前



本震後



続櫓部材回収(H29. 10月)



(重要文化財)東十八間櫓

被災前



本震後



撤去した建業部材を西出丸に移動し整理・収納

部材と石垣の撤去工事



撤去した建業部材を移動し整理・収納



安全対策工事



(復元建造物)飯田丸五階櫓

被災前 (上半部は明治22年地震で修復)



本震後



緊急対策(H28. 7月)



(復元建造物)飯田丸五階櫓

無人重機を使用して崩落部材の回収(H29. 6月)



受構台設置工事(H29. 9月)



(復元建造物)天守閣

被災前



本震後



(復元建造物)天守閣

天守閣復旧整備事業(H29. 10月)

